

タイトル	西成からアフリカについて考えよう		
氏名	肥下 彰男		
学校名	大阪府立西成高等学校		
担当教科	総合学習・数学		
実践教科	総合学習・数学	時間数	7時間
対象生徒学年	1年生	対象人数	300人

カリキュラム案

(1) 実践の目的

西成の地域課題の学習からアフリカ・タンザニアとの共通課題として「持続可能な開発」について考える。

(2) 授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 限目 テーマ：西成差別について考えよう ねらい：西成学習の導入として西成差別について考える	(1) 「別冊フレンド」事件について考える (2) それぞれの「西成」体験について考える	(1) 自主教材プリント (2) 映画「未来世紀ニシナリ」
2 限目 テーマ：西成のことを知ろう ねらい：日雇い労働者の街・釜ヶ崎について考える	(1) 西成差別についての振り返り (2) 釜ヶ崎での労働者について学ぶ	(1) 自主教材プリント (2) 漫画「かまやん」
3 限目 テーマ：子どもの夜回りから考えよう ねらい：子ども夜回りから野宿者との関わりを考える	(1) 子ども夜回りの活動について学ぶ (2) 若者の野宿者への襲撃について考える	(1) VTR「ホームレス」と出会う子どもたち (2) 自主教材プリント
4 限目 テーマ：識字から学ぼう ねらい：部落問題の導入として識字学級について学ぶ	(1) 識字学級で書かれた作文を読む (2) 識字学級で学んでいる人の姿から考える	(1) 識字学級で書かれた作文 (2) VTR「なまえをかいた」

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
5 限目 テーマ：貧困スパイラルを断ち切ろう！ ねらい：差別と貧困との関係を考える	(1) 貧困スパイラルから差別と貧困の関係について考える (2) スパイラルを断ち切るためにどのような運動や政策があったかを知る (3) 西成高校の設立の意義を知る	(1)自主教材プリント
6 限目 テーマ：貧困の輪を断ち切ろう！ ねらい：タンザニアにおける貧困の構造について考える	(1) タンザニア版「貧困の輪を断ち切ろう！」から貧困の構造について考える (2) タンザニアの高校について知る (3) JICAの国際協力活動の意味を考える	(1)自主教材プリント (2)タンザニアで撮った写真と映像
7 限目 テーマ：自然数の和から等差数列の和 ねらい：タンザニアでの模擬授業から考える	(1) 自然数の和から等差数列の和を求める授業の中でタンザニアの生徒たちの様子を伝える (2) タンザニアにおける学校の意義について知	(1)タンザニアで購入したティンガティンガの絵 (2)タンザニアの授業で使用した教材

教材について

第1時限から第5時限については、「反貧困学習」（西成高校著、解放出版社）掲載の教材「西成差別について考えよう」「西成のことを知ろう」「子ども夜回りから考えよう」「識字から学ぼう」「貧困スパイラルを断ち切ろう！」を使用した。

第6時限については、「貧困の輪を断ち切ろう！」のワークシート教材を作成し、VTRやスライドを用いて授業を展開した。

第7時限については、タンザニア研修中にKilangalanga Secondary schoolで行った模擬授業「自然数の和から等差数列の和へ」を再現し、タンザニアでの生徒の反応を紹介しながら、タンザニアにおける民族統合においてセカンダリースクールが果たしてきた役割や異文化に触れあうことの意義について語った。

授業の展開について

◆第6時限目「貧困の輪を断ち切ろう！」の授業展開（添付のワークシート参照）

- (1) 第4時限「西成のことを知ろう」の生徒の感想の紹介
- (2) アフリカ・タンザニア版「貧困の輪」を完成させる
- (3) 自分にとって大切なもののランキング
- (4) VTR「孤児院でのダンス」を観て子どもたちの背景を紹介
- (5) セカンダリースクールの写真のスライドを観て「違い」を考える
- (6) タンザニアの自分にとって大切なもののランキング結果を比較する
- (7) 「貧困の輪」を断ち切るために、短期的・長期的にどうすればいいかを考える
- (8) JICAが実施している海外協力を紹介する。

◆第7時限目「自然数から等差数列の和へ」の授業展開

- (1) JICAスタッフの紹介
- (2) ティンガティンガの絵からタンザニアの紹介（キリマンジャロ・野生動物・マサイ族）
- (3) $1+2+3+\dots+10$ を工夫して求める
- (4) $1+2+3+\dots+15$ を同様に工夫して求める（奇数までの和では解き方が異なる・タンザニアでも生徒たちが同じ発見をしたことを紹介）
- (5) 模造紙に書かれた図からガウスの解き方を発見
- (6) 同様に等差数列の和を求めることができることを紹介
- (7) ニエレレ大統領がセカンダリースクールを寄宿舎制にしてスワヒリ語を共通の言語にし、部族間の対立を解決したことを紹介
- (8) タンザニアではセカンダリーから授業が英語になるが周辺諸国では小学校から英語であることを紹介

生徒の反応や評価

本校が立地する地域的な課題を学習する中で、「世界にも貧困問題はある」という生徒の声からタンザニアの学習へと繋ぐことができた。第6時限で日本における貧困の連鎖について学習したので第7時限のタンザニアにおける貧困の構造についても理解が早かった。タンザニアの学校との違いはフォトランゲージだけではモノのなさばかりに目が奪われがちになってしまった。「大切なもの」ランキングは現地での取材不足から価値観の違いについて深まった内容にはならなかった。むしろ第7時限で同じ数学の授業を受けての反応の同質性や学校のもつ役割の違いから、タンザニアで暮らす同世代の生徒への親近感や異なる社会状況を感じ取っていた。



授業の様子

所感

本校では、地域からタンザニアへと展開することによって生徒が「持続可能な開発」を共通課題として認識できるように努めた。タンザニア人自身による取り組みを授業実践に入れることができれば、もっと深みのある学習となったであろう。

ワークシート

アフリカ・タンザニア版「貧困の輪を断ち切ろう！」

今日は、世界の貧困とくにアフリカのタンザニアという国のことを考えます。まずは、前回に学習した「貧困スパイラルを断ち切ろう！」と同じように次の8つの項目を並べてください。

学校

病気になりやすい子どもたちは、勉強するのが大変で、学校を休みがちになる。

貧困

タンザニアでは3人に1人が貧困生活にある。

飢餓

貧困生活の子どもたちは、栄養のある食べ物を十分に取っていないことが多い。

学校

十分な食べ物をとっていない子どもたちは、栄養失調になり、成長できなくなる。

職業的スキル 学校の勉強が大変で、退学した子どもたちは、読み書き計算など仕事に必要なスキルがない。

失業 学校で基本的スキルがついていないと、失業したり、条件のいい仕事につくにくい。

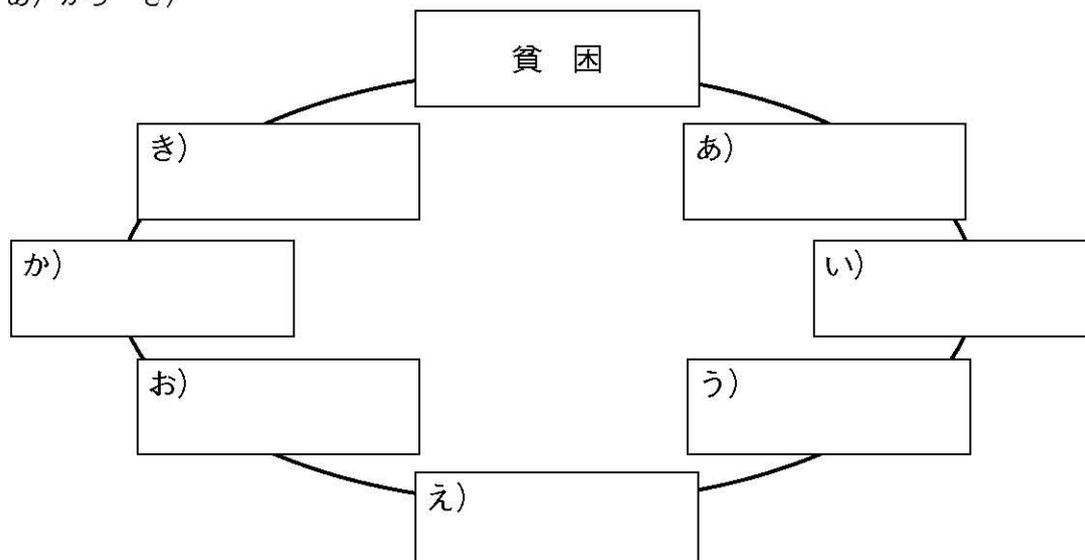
健康

栄養失調の子どもたちは、身体があまり強くなく、感染にたいして抵抗力がないので病気になりやすい。

収入の不足 失業中や不安定な仕事の人には衣食住などの生きるために必要なものを満たすだけの収入がない。

貧困の輪（貧困を一番上にして項目を並べていきます）

あ) から き)



解答

あ) 飢餓 い) 栄養失調 う) 健康 え) 学校 お) 職業的スキル か) 失業 き) 収入の不足

「新しい開発教育のすすめ方—地球市民を育てる現場から」(開発教育推進セミナー編、古今書院) 所収「貧困の輪を切ってみよう」を一部改訂

1. まず、あなたにとってどれが大切ですか？大切な順に番号をつけてください。

家族 () 友だち () お金 () 仕事 () 勉強 () 宗教 ()

一番をつけた理由

★VTR を観てください。

VTR でダンスを踊っている子どもたちは、親が(ア)などの病気や事故で亡くなったりした子どもたちです。タンザニア人の人たちが、この子どもたちの居場所を作り、ダンスの練習をしたりしています。

2. VTR で出てきたタンザニアの学校と西成高校とではどんな違いがあると思いますか？

1人にひとつ(イ)がない

(ウ)科の先生が足りない

(エ)をもっている生徒はほんの少し

どの科目も(オ)で授業をする

(カ)がすごく難しい



ア) エイズ イ) 机 ウ) 理数 エ) 教科書 オ) 英語 カ) 卒業試験

3. タンザニアの学校(セカンダリースクール)の生徒もどれが大切かを聞いてみました。順番は

1位(勉強) 2位(家族) 3位(宗教) 4位(仕事)

5位(お金) 6位(友だち)

あなたの順番と比べてどう感じましたか？

4. この「貧困の輪」を断ち切るために緊急性が高い(すぐに何とかしなくてはいけない)ものはどれで、どんな協力が必要でしょう？

() () ()

HIV 感染(キ)の知識を広めたり、農業の(ク)を高める

(あ) (い) (う) キ) 予防 ク) 生産性

5. 長期的に解決していかなければならないのはどれで、どんな協力が必要でしょう？

() () () ()

産業が発展するように(ケ)を作り、安定した(コ)を供給できる施設をつくる。

タンザニア人がタンザニア人自身で問題解決していけるような(サ 人づくり)に協力する。

→ JICA (国際協力機構) はこのような活動をしています。

(え) (お) (か) (き) ケ) 道路 コ) 電力